

X線造影検査説明書

ID :

患者氏名 :

あなたが受けられる検査では、ヨード造影剤という検査薬を使用します。このX線造影検査を行うにあたり、あらかじめ造影剤使用の同意をいただく必要があります。担当医の説明に納得されましたら「ヨード造影剤使用同意書」にご署名下さい。

・造影剤とは

診断にあたって情報量を増やし、診断を容易にするために使用する薬です。通常は静脈内に投与します。

・造影剤を使用する利点

注射された造影剤は、血管を介して全身の臓器に分布していきます。それによって血管腔の状態、臓器の血流状態、および病変での造影剤の分布が分かり、画像診断上、重要な情報を得ることができます。

・造影剤の副作用について

最近では副作用の少ないものが開発されていますが、それでも危険性をなくすことは出来ません。軽微な副作用を含めて3%ほどの患者さんになんらかの副作用が生じます。この副作用には検査中や検査直後に生じる即時性のものと、検査終了後数時間から数日後におこる遅発性のものがあります。

・即時性の副作用について

そのほとんどが、じんま疹、かゆみ、発赤、くしゃみ、吐き気、軽度の頭痛といった軽い症状です。しかし、まれに冷や汗が出たり、呼吸が苦しくなったりすることがあります。また、1万人に4人程度の割合でショックなどの重篤な副作用を生じることもあります。極めてまれですが死に至るケースも報告されています。

・遅発性の副作用について

まれに検査終了後から数日後に体がだるくなったり、頭痛がしたり、じんま疹が出ることがあります。

・副作用発生時の対応について

1) 即時性副作用

検査中は放射線科医が待機しており、また、画像診断担当の看護師と診療放射線技師が常に観察を行っていますので、なにかあれば至急に対処します。予期せぬ出来事に対しては放射線科医と主治医が最善の対処をいたします。

2) 遅発性副作用

検査終了後、数時間から数日後に先に述べた症状や、他に何か異常が現れた場合には受診科か、救急外来までご連絡下さい。

説明医師 _____ 印